

2017（平成29）年度 学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会

<p>経営目標</p>	<p>学院教育理念の下、園児一人ひとりの個性や育ちを尊重し、個々の能力の伸長を図る。 新しい認定こども園教育・保育要領に対応、指導力と教育保育内容の更なる充実と見直しを図る。 教職員のワークライフバランスを考えつつ、世代交代を円滑に図る。</p>
<p>重点課題</p>	<p>関係者評価委員会のご意見</p>
<p>(1) 教育・保育力の向上 目標とする子ども像の明確化を図り、教育保育カリキュラムの精選と変更を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体性、協働性を育てることを意識したカリキュラムの構成 ・日々の継続指導による数や文字・言葉の指導 ・子どもの育ちに合った体力強化の場の設定 ・表現（コミュニケーション）能力の育成 ・縦割り保育のカリキュラムの実践と蓄積 ・理科的事象を利用した好奇心・探究心の育成 ・食育の充実 ・オーストラリア国際交流への参加による指導法教材の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流として、保育課程の子どもたちと関われるよう企画をして交流を深めることができたのは、子どもたちの成長において、自主的に他の子どもたちと関わりを持つようとする意識付けにもなってよい機会になっていると思う。 ・年長組はルールのある遊びをすることで、ルールを守る、ルールを守りながら楽しく遊ぶということが良くできていたように思う。クラス単位だけでなく、学年単位で、縄跳び大会のように〇〇大会、〇〇発表会などスケールの大きい環境の中で、目標を持って取り組む機会がもう少しあればいいと思う。 ・各学年それぞれの子どもの成長に合わせた保育指導がなされていると思う。 ・日常生活の中で数字、文字、音楽に興味を持つ工夫がされ、課外活動も充実していると思う。 ・各学級での係り活動等で、子どもたちは責任感や自信を持てるようになっている。 ・預かり保育が充実していることにより、子どもたちも異年齢の子どもたち同士仲良く楽しく過ごせるのはよいことだと思う。今年度は、厳しい指導のあまり預かり保育を子どもが利用したがらず困っているという声を聞くことが何度かあった。厳しく指導するべきこともありますが、それ以外のフォローなど見直しが必要な部分もあるのではないかと思います。 ・これからの社会を生きていくため必要な自尊感情を育んでいただける環境作りをしていただいているのは良いと思う。 ・大勢の中でも一人ひとりをしっかり見てくださり、得意不得意を見極めた上で保育をしていただけたところは、さすがだと思う。 ・夏休みプールやお楽しみ企画が減ったのが残念である。
<p>(2) 募集・広報 教育と保育、進学支援と子育て支援のバランスの取れた園であることの情報発信を行い募集に資する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、園からの刊行物等を使用した園から情報発信 ・子育て支援事業（フォーキッズ）による教育保育情報の発信 ・2歳こあら組の園児確保 ・地域行事への積極的参加による親和感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・千里キャンドルロードへの参加は、幼稚園の名前を一般に広く認知していただくのに良い効果を上げていると思う。 ・ぺんぎんだよりの導入はとても良かった。 ・様々な意見はあると思うが、幼保連携を今後も強みにしていただきたい。 ・ホームページの動画は園生活がわかりやすくよいと思う。

<p>(3) 進路</p> <p>各家庭の希望実現のため、園としてとれる最大限の補助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設小学校校長他による年少・年中時からの説明会の実施 ・補習の実施 ・担任による進路懇談会の実施 ・進学に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・追小への進学希望者も一定数確保しつつ、他私学や公立小などそれぞれの子どもたちに合った小学校選びを考え、保護者の相談などもしっかり聞いてくださり、アドバイスをいただけるところは、さすが追手門だと思う。 ・希望の小学校へ行くための園長先生による補習は子どもたちにとって大きな自信にもつながると思うので今後も継続して欲しい。 ・PTA主催による各私立小学校の説明会だが、年毎に受験希望の学校に変化があるので、希望の多いところを優先して開催できるよう園からの早めの情報提供があればありがたいと思う。 ・小学校との連携は最大の強みで、プレテストに対する心のケアや補助はありがたいと思う。 ・それぞれの進学希望に合わせた対応がなされていると思う。
<p>(4) 併設校連携</p> <p>総合学園の中のこども園である利点を最大限活用し教育・保育活動に反映、他園との違いを活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携 読み聞かせ、科学遊び施設利用等 ・両中高との連携 インターンシップの受け入れ、吹奏楽部による演奏会 ・大学との連携 インターンシップの受け入れ、施設利用 ・チアダンスによる連携 新たに課外活動としてチアダンスを取り入れ将来的に小中高大の各クラブとの合同演技実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校のプール利用、大学の施設で過ごす体験、小学校校長先生による読み聞かせ、小学校の先生による理科実験、夏祭りへの大学生のイベント参加などどれも素晴らしい取り組みだと思う。 ・時代がグローバル化していく中で、幼稚園の時からタブレットやコンピュータに触れる機会を作ればよいと思う。 タブレットやコンピュータを学びのツールとして使用するのもいいのではないかと思う。 ・こども園から大学までといった連携は他園との差別化を図り、強みだと考えます。 ・小学校の連携をしっかりといただいていることは、内部進学したあとの事が想像しやすく良いと思います。 ・科学あそびのようにプレ授業のようなものをさらに増やして、内部進学への働きかけをもう少し強化してもいいのではないかと思う。 ・今後、運動会会場の小中高大グラウンド使用も検討していただきたい。 ・幼小中高大のチアダンス合同演技はぜひ実現させていただきたい。
<p>(5) 施設・安全</p> <p>保護者に選ばれる安全安心・清潔快適な保育環境づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラによる園全周の警備 ・教育課程保育室の冷暖房設備の段階的刷新（50周年事業） ・園庭・遊具の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境はいつも清潔で、子どもたちも気持ちよく生活できていると思う。 ・敷地内の防犯カメラやミマモルメの導入などとても良い環境づくりを行っていると思う。 ・月に一度の遊具点検等、安心して遊べる環境づくりが行われていると思う。 ・月に一度の避難訓練も継続をお願いしたい。
<p>(6) 人事・組織</p> <p>子育て支援事業部門の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育のメリットを活かしたカリキュラムの作成 ・教育保育両課程の保育教諭の処遇一体化と運用の一体化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方のチームワークや若い先生方の育成が上手く進んでいるところが良いと思う。

【今年度の園の取り組み全体へのご意見と次年度の課題】

次年度への取り組み課題	関係者評価委員会の意見
<p>今年度も教育・保育の質の向上を図るべく日々意識をして取り組んできた。この点について保護者の皆様に一定の評価をいただき大変うれしく思っている。今年度は特に教職員のワークライフバランスと次年度からの新しい教育保育要領への対応という観点から現在の教育保育カリキュラムの見直し変更を図った。そのことについても一定の評価を得ることはできたと考える。「保護者同士」のコミュニケーションの場の設定についてはPTA4 役様はじめ卒園保護者・現保護者の皆様のご協力を得てさらに交流が図れるようPTAの皆様とともに協力したい。次年度も園がさらに発展するよう日々研鑽を続けたい。</p>	<p>今年度も昨年度の保護者アンケートの結果を受け、いろいろな点が改善され、すべての項目についてのポイントが上がっていることは良かった。</p> <p>特に日々先生方はじめ園の活動に携わっている方々が、子どもたちのためにさらに上の保育を考えておられることに感謝したい。今後も園とPTAが協力して、園児一人ひとりが有意義な園生活が行えるよう環境づくりをお願いしたい。</p> <p>なにより子どもが幼稚園を大好きだと思えることは、素晴らしい。先生方がそのような環境を作ってくれているからだと思う。時代は変わりますが、「追手門」のカラーが損なわれないことを強く希望する。追手門の保護者であることの誇りを忘れないように園からも発信をして下さるようお願いしたい。</p>